



『中国医学辞典』

『鍼灸編』出版

福建僑胞陳有昭氏・編著

二〇〇八年に出版され

た『中国医学辞典「基礎編」』につづく『中国医学辞典「鍼灸編」』がこのほど(株)たにべち書店から発刊された。編著者は福建僑胞の陳有昭氏。

陳氏は一九四五年に北海道函館市で生まれ、六五年、京都の中国人生寮・光華寮に入寮し、中国語を学ぶ。その後、中華書店京都支店に勤務。

七八年に北海道鍼灸専門学校を卒業し、現在、太極院はりきゅう治療院を営み、あわせて太極拳の普及活動を行っている。

(株)日本鍼灸師会会員、二〇〇七年に全日本鍼灸学会に入会。

本辞典「鍼灸編」での

収録語数は四二三六語。

『基礎編』の収録語数七

二七九語をあわせると、

収録数は一万一千語を超

え、最近日本国内で出版

された漢方辞典の中では

類のない数。

臨床上よく使われるツ

ボに「経穴」とよばれて

いるものがあるが、同書では新しい試みとして、

この経穴や全身をめぐる

ている経絡などの名前に

はWHOで決められた

コード番号や英語名など

を記載している。また歴

代の古典に載っている名

前の由来、ツボの位置、

効能などもわかりやすく掲載。

収録したものを大まか

に類別すると、経穴に関

しては三六九語、奇穴は

四七三語、経絡臓腑は三

九八語、解剖用語は一九

三語、臨床関係は七二二

語、人物紹介は四〇九

語、書籍紹介は六六九語

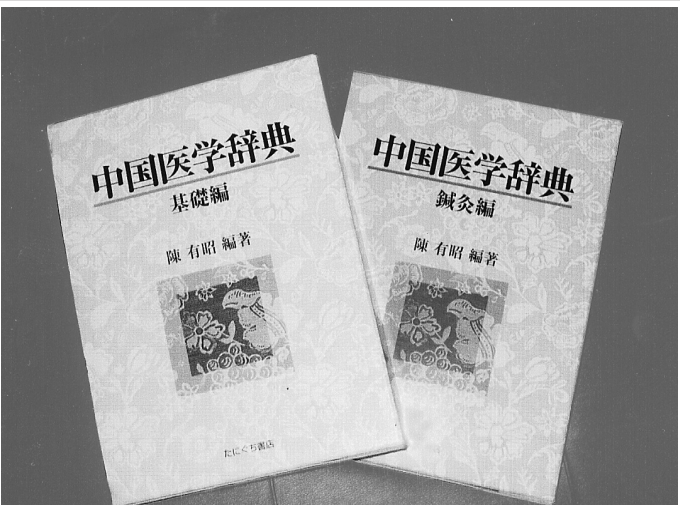
などとなっている。

同書は専門的医療従事者はもちろんのこと、学生や初心者にも中国医学の知識を学べるように、平易な言葉をもちいて難解な専門用語を解説しており、また、現在中国でもちいられている簡体字と中国語の発音記号ピンインとも併記、中国に赴く留学生や医学関係者にとってたいへん重宝するものと思われる。

本文七〇五頁、B5判

精裝本、定価：本体五、

〇〇〇円＋税。



『中国医学辞典「鍼灸編」』(右)と〇八年出版

された『中国医学辞典「基礎編」』(左)